ダッシュボード

この章の内容は、次のとおりです。

- ダッシュボード （1 ページ）

ダッシュボード

ダッシュボードは8個の四角形の集合で、さまざまなタイプの情報を入力できます。使用可能なモジュールから複数のモジュールを選択し、グリッドに配置できます。現在表示されているモジュールの設定をカスタマイズすることもできます。ダッシュボードをロードすると、選択したダッシュボードモジュールがグリッドの所定の場所にロードされます。モジュールのデータは、モジュールのタイプに応じた間隔で更新されます。

ダッシュボードを開くと、グリッドのワイヤフレームビューが表示されます。現在表示されていないモジュールを表示するには、[Customize] をクリックします。モジュールを追加するには、右側にあるモジュールのリストからモジュールを選択し、グリッド内の任意のスペースにドラッグアンドドロップします。

モジュールは次のグループに分類されます。

- スモールモジュールは 1 つの四角形を占有するモジュールです。
- ラージ モジュールは 2 つの四角形を占有するモジュールです。

現在占有されているスペースにモジュールをドラッグすると、新しいモジュールによって古いモジュールが置き換えられます。グリッド内のモジュールの配置を再配置するには、モジュールを占有しているグリッド位置から別の位置にドラッグします。[Done] をクリックした場合にのみ、関連する情報がモジュールに読み込まれます。ダッシュボードの各モジュールのタイトルバーには、モジュールのタイトルと 3 つのボタンが表示されます。

- 鉛筆：設定オプション（モジュールによって異なる）を開きます。
- 更新：情報を更新します。
- X：モジュールをダッシュボードから削除します。

表 *1:* スモールモジュール

システムの正常性	[System Health] には、デバイスの状態に関する情報が表示されます。
	• Refresh Time
	  • リフレッシュなし
	  • 1 分
	• System Health
	  • [Fan Status]：1 つのファンに障害が発生し、冗長ファンによってバックアップされている場合は黄色。ファンの動作時は緑色、ファンの動作不良時は赤色。
	  • Thermometer Status
	  • 適正温度：緑色（温度計の目盛り：ほぼ 0）。
	  • 警告発生温度：黄色（温度計の目盛：半分）。
	  • 危険温度：赤色（温度計の目盛り：最大）。

リソース使用率	このモジュールには、さまざまなシステムリソースの利用状況が棒グラフでパーセント表示されます。 次のリソースをモニタできます。 • [Multicast Groups]：定義可能な上限数に対する、実際に存在するマルチキャスト グループのパーセンテージ。 • [MAC Address Table]：MAC アドレス テーブルの使用率。 • [TCAM]：QoS エントリと ACL エントリによる TCAM の使用率。 • [CPU]：CPU の使用率。

ID	このモジュールには、デバイスに関する基本情報が表示されます。次のフィールドが表示されます。 • [System Description]：デバイスの説明を表示します。 • [Host Name]：システム設定で入力した名前、またはデフォルトが使用されます。 • [Firmware Version]：デバイス上で動作している現在のファームウェアのバージョン。 • [MAC Address]：デバイスの MAC アドレス。 • [Serial Number]：デバイスのシリアル番号。 • [System Location]（設定されている場合）：デバイスの物理的な場所を入力します。 • [System Contact]（設定されている場合）：担当者の名前を入力します。 • [Total Available Power]（PoE デバイスの場合のみ）：デバイスに使用可能な電力量。 • [現在の電力消費量]（PoE デバイスの場合のみ）：デバイスで消費されている電力量。

PoE 使用率	このモジュールには、PoE の利用状況がグラフィック形式で表示されます。スタンドアロンユニットの場合、このモジュールには 0 ～ 100 の値の目盛りが付いた計器が表示されます。目盛りのトラップしきい値から 100 までの範囲は赤色です。計器の中央に、実際の PoE 使用率がワット単位で表示されます。 それぞれの横棒は、デバイスの PoE 使用率を 0 ～ 100 の範囲で表します。PoE 使用率がトラップしきい値を超えると、横棒が赤色になります。それ以外の場合、横棒は緑色です。横棒上にカーソルをポイントすると、そのデバイスの実際の PoE 使用率をワット単位で表すツールチップが表示されます。追加のビューを設定オプション（右上隅の鉛筆のアイコン）で選択できます。 • [Refresh Time]：表示されるオプションのいずれかを選択します。 • [PoE Global Properties]：[Port Management] > [PoE] > [Properties] ページへのリンク。 • [PoE Port Settings]：[Port Management] > [PoE] > [Settings] ページへのリンク。 （注） この項は、PoE をサポートするデバイスのみに関係します。

表 *2:* ラージモジュール

最新のログ	このモジュールには、システムにより SYSLOG としてログに書き込まれた、最新の 5 つのイベントに関する情報が含まれています。次の設定オプション（右上隅）を使用できます。 • [Severity Threshold]：ログ設定を参照。 • [Refresh Time]：表示されるオプションのいずれかを選択します。 • [View logs]：クリックするとRAMメモリが開きます。

中断されたインターフェイス	このモジュールには、一時停止されたインターフェイスがデバイス ビューまたはテーブル ビューのどちらかで表示されます。ビューは設定オプションの [Display Option]（右上隅にある鉛筆アイコン）で選択します。
	• [Device View]：このビューには、デバイスが表示されます。ユニットどうしがスタック内で接続されている場合、ドロップダウン セレクタで、表示するデバイスを選択できます。デバイス内の一時停止されたすべてのポートが赤色で表示されます。
	• [Table View]：このビューでは、特定のスタックユニットを選択する必要はありません。情報は、次のように表形式で表示されます。
	  • [Interface]：一時停止されたポートまたは LAG。
	  • [Suspension Reason]：インターフェイスが一時停止された理由。
	  • [Auto-recovery current status]：一時停止の原因となった機能に対して自動修復が有効になっているかどうか。
	次の設定オプション（右上隅）を使用できます。
	• [Refresh Time]：表示されたオプションのいずれかを選択します。
	• [Error Recovery Settings]：クリックするとエラー回復設定が開きます。

スタックトポロジ	このモジュールには、スタックトポロジがグラフィック形式で表示されます。動作については、[Stack Topology View] と同じです。次のフィールドが表示されます。 • [Stack Topology]：チェーンまたはリングのいずれか。 • [スタックアクティ（Stack Active）]：スタックのアクティブユニットとして機能するユニット数が表示されます。 モジュール内のユニットにマウスカーソルを合わせると、ユニットを識別し、そのユニットのスタッキングポートに関する基本情報を提供するツールチップが表示されます。モジュール内のスタック接続にマウスカーソルを合わせると、接続されているユニットとその接続が行われているスタッキングポートの詳細情報に関するツールチップが表示されます。

ポート使用率	このセクションには、デバイスのポート使用率が表示されます。ビューは、設定オプション（右上隅の鉛筆のアイコン）で選択します。
	• [Display Mode]：[Device View]：デバイスが表示されます。ポートにカーソルを置くと、そのポートに関する情報が表示されます。
	• [Display Mode]：[Chart View]：ポートの一覧と各ポート使用状況が表示されます。ポートごとに、次のポート使用率情報を確認できます。
	  • 送信—%（赤色）
	  • 受信—%（青色）
	• [Refresh Time]：表示されるオプションのいずれかを選択します。
	• [Interface Statistics]：[Status and Statistics] > [Interface] ページへのリンク。

トラフィックエラー	このモジュールには、RMON 統計情報に関してカウントされたさまざまなタイプのエラーパケットの数が表示されます。ビューは、設定オプション（右上隅の鉛筆のアイコン）で選択します。 • [Display Mode] - [Device View] デバイスモジュールモードの場合、デバイスのダイアグラムが表示されます。デバイス内の一時停止されたすべてのポートが赤色で表示されます。 一時停止されたポートにマウスカーソルを合わせると、次の情報を含むツールチップが表示されます。 • ポート名。 • ポートが LAG のメンバーである場合は、ポートの LAG アイデンティティ。 • ポート上でログに書き込まれた最新のエラーの詳細情報。 • [Display Mode] - [Table View] • [Interface]：ポートの名前。 • [最後のトラフィックエラー]：ポート上で発生したトラフィックエラーと、エラーが発生した最後の時刻。 • [Refresh Time]：いずれかのリフレッシュレートを選択します。 • [Traffic Error Information]：統計情報へのリンクをクリックします。

ダッシュボード

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。